

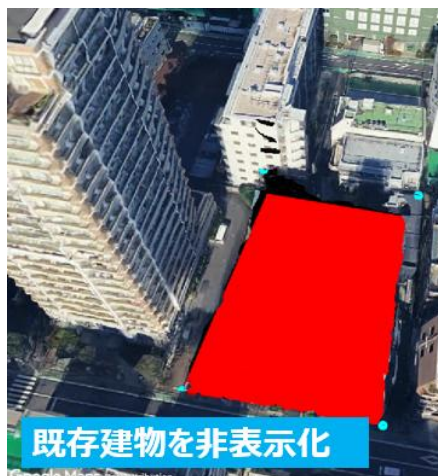
2026 年 9 月 1 日

ダイナミックマッププラットフォーム株式会社

三井不動産レジデンシャルにてダイナミックマッププラットフォームの 3Dmapspocket®が採用 用地取得前の眺望確認・事業検討を 3D 空間データで支援

ダイナミックマッププラットフォーム株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長 CEO:吉村 修一、以下「当社」)は、当社が提供する総合 3D 空間プラットフォーム「3Dmapspocket®」(スリーディーマップスポケット)が三井不動産レジデンシャル株式会社(本社:東京都中央区、以下「三井不動産レジデンシャル」)に採用されましたことをお知らせします。

三井不動産レジデンシャルでは、不動産開発における用地取得前の事業検討業務において 3Dmapspocket®を活用します。用地取得前の段階で、計画中の建物を 3D 空間上に仮配置し、住戸からの眺望や周辺環境への影響を事前に確認することで、開発計画の検討の効率化や関係者との合意形成の円滑化を図ります。



3Dmapspocket®を活用した用地取得前の眺望確認・周辺環境確認イメージ

不動産開発では、用地取得前の段階から、周辺環境や眺望、建物配置の可能性などを多角的に確認することが重要です。一方で、現地調査や写真・地図情報などの既存資料だけでは、住戸ごとの見え方や周辺建物との関係を立体的に把握することが難しい場合があります。

「3Dmapspocket®」は、当社が取得した全国的高速道路・自動車専用道路・主要幹線道路の3次元点群データと Google Photorealistic 3D Tiles を統合し、ブラウザ上で計測・分析・配置などの複合的な空間検証を行える総合 3D 空間プラットフォームです。距離や高さの計測、建物配置の検討、眺望確認などをワンストップで行うことが可能です。

当社は今後も不動産開発分野における「3Dmapspocket®」の活用拡大を通じて、用地取得前の検討業務から開発計画立案に至るまでの業務効率化に貢献してまいります。

<ダイナミックマッププラットフォーム株式会社について>

当社は日本政府によるバックアップのもと、国内自動車メーカー10社等の出資により設立されました。日本をヘッドクォーターに、北米・欧州・中東・韓国に拠点を構え、現在 26 ヶ国で事業を展開。自動運転や先進運転支援システム(ADAS)をはじめ、シミュレータ環境構築、インフラ管理、除雪支援など、幅広い用途に向けて高精度 3 次元データを提供しています。

「Modeling the Earth」=地球のデジタル化をビジョンに、高精度 3 次元データのプラットフォームとして、様々な産業分野におけるイノベーションを共創します。

設立: 2016 年 6 月

本社: 東京都渋谷区

代表者: 吉村 修一

事業内容: 自動運転・ADAS をはじめ多様な産業を対象とした高精度 3 次元データの提供

公式サイト: <https://www.dynamic-maps.co.jp/>

公式 X: https://x.com/dynamic_maps